

事業所名： オレンジヒルズやまがた

作成日： 令和 6 年 12 月 6 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	5	運営規定は、昨年、改訂されているが、今年度から義務化された項目の追加があるため、身体拘束を含む義務化事項を再度確認し、適切に記載した運営規定となるよう期待したい。	身体拘束委員会にて義務化された事項を確認し、実践する為、運営規定に記載し、事業所全体で身体拘束に向けた取り組みを実践していく。	運営規定の見直しを図り、法人に決裁を行い、保険者に身体拘束の義務化事項を盛り込んだ運営規定を提出する。また、事業所内でも身体拘束における必要事項を職員間で周知し、意識向上を図る。	3 か月
2	18	地震が発生した場合、居室や共同空間の家具が倒れたり、備品等が飛散しないか、転倒防止対策や配置変更等も必要と思われる。火災時には、建物外に避難した際、利用者を守れるよう季節に応じた避難グッズなど、持ち出し袋等の整備に期待したい。	有事の際、共同スペース、居室内の危険な箇所を職員全体で検討、周知する事で、事業所全体で防災の意識を高める。	共同スペース、居室内の転倒の可能性がある家具等には、転倒防止対策を行う。また、避難した後の対策に備える為、非常グッズの持ち出し袋についても検討する。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。